

1 学年だより

NO 1 5

夢の宅配便

令和3年4月23(金)

小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

相手が嫌がること、触れてほしくないことは言わない

私の小学校時代は、大変な暴れん坊の生徒で「曾我小学校の創立以来の大変な生徒」と先生達に言われました。今、自分自身のことを振り返って見ると、先生の指導に従わないで授業をさぼって校外に遊びに行ったり、自分の思う通りにならないと機嫌が悪くなって、暴言を吐いたり、自分に逆らう友達を泣かしたり、本当にとんでもない生徒だったと思います。

6年生の終わりのころに、教頭先生に、「自分の性格を変えて、中学校になったら、新しい自分でスタートしたら、どうですか？」とアドバイスを受けました。私は、教頭先生にはいろいろお世話になっていたので、「自分のわがままな性格を変えよう」と素直に思って決意しました。中学校に入って、自分の思い通りに行かないときや、自分に意見を言うてくる生徒がいても、自分の感情をコントロールして暴言を吐いたり、友達に向かっていったりはしないように頑張りました。「中学生になったら、自分を変えて優しくなる。人に暴言を吐かない。」と決めたことを実行していきました。5月の終わりのころには、新しい友達もいっぱいできて、だれも、私のことを怖がったりする生徒もいなくなりました。私は、同じ小学校の友達が「あのさ、喜代ちゃんって、すごい乱暴なところがあって怖いよ！授業もさぼってたんだよ！」などと、自分の小学校の時のことを新しい友達に誰かが広めるのではないかと密かにビクビクしていました。小学校の時の自分の様子を新しい友達に知られたら、私は変わらないと思ったのです。しかし、だれも、私の昔のことを言いふらす人はいませんでした。私は、小学校の友達に対して感謝の気持ちで一杯になりました。そのおかげで、中学校でたくさんの友達ができて、今でも交流しています。

新しい中学校の生活で、自分を変えようと頑張っている人がたくさんいると思います。「あの人は、小学校の時は、こんなことがあったのよ！こんなことをしたんだよ！」などと、昔のことを言いふらすのはよくないですよ。変わろうとしている心が折られてしまいます。昔の触れてほしくない話は、触れないのが優しさだと思います。だれの心の中にも触れてほしくない、言ってもほしくないことがあります。そのことは触れないというのが大人です。今、みんなが変わろうとしているとき、優しさを大切に。

お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん からのメッセージ！ NO 1 0

「新中学生にむけて」

NO 1 0

マイケル・ジョーダンの言葉を紹介します。

The game has its ups and downs,
(試合では、いろいろなことが起こるけど)

but you can never lose focus of your individual goals.
(お前自身のゴールは絶対見失うな)

and you can't let yourself be beat because of lack of effort.
(で、努力不足で相手に打ち負かされることは、あってはならない。)